

2017年フォーラムプログラム詳細

フォーラム番号	Y17	GIA
---------	-----	-----

企画委員会	交通事故傷害予測と自動通報に関する検討委員会	
-------	------------------------	--

テーマ名和文	交通事故自動通報の普及に向けて
テーマ名英文	Spread Strategy of Automatic Collision Notification
テーマ名副題和文	
テーマ名副題英文	

開催日	2017/5/26	AM
会場名	パシフィコ横浜アネックスホールF204	

参加のすすめ	本フォーラムでは、この二年間の成果を発表することにより交通事故自動通報システムの内容と普及の現状について自動車業界やユーザに周知する。交通事故自動通報は被害者の救急医療に有効なシステムであるが、依然として一般の認知度が高くなくこのような機会にその重要性を訴えることが重要と考える。更に本委員会がこれまで行なってきた活動を引き続き継続させることが、交通事故自動通報システムの普及促進に非常に重要であることを訴えたい。
--------	---

関連分野	⑦安全
------	-----

プログラム

開始時間	終了時間	役割	演題	氏名	勤務先
09:30	09:40	司会	開会の挨拶	北岡 哲子	日本文理大学
09:40	09:50	講演者	交通事故自動通報委員会の目的	宇治橋 貞幸	日本文理大学
09:50	10:10	講演者	国内の交通事故自動通報の現況	斎藤 信夫	日本緊急通報サービス
10:10	10:30	講演者	海外の交通事故自動通報の現況	吉田 傑	本田技術研究所
10:30	10:50	講演者	事故自動通報システム(ACN)の普及促進に向けてー自動車アセスメントの活用ー	井上 哲	国土交通省
10:50	11:10	講演者	交通事故自動通報のための状態別傷害予測アルゴリズム	西本 哲也	日本大学
11:10	11:30	講演者	先進交通事故自動通報による被害軽減への期待	竹中 研一	トヨタ自動車
11:30	11:50	講演者	救急自動通報システム(D-Call Net)試験運用中の実通報とドクターヘリ実出動について	本村 友一	日本医科大学千葉北総病院
11:50	12:00	講演者	交通事故自動通報の普及に向けて	宇治橋 貞幸	日本文理大学
12:00	12:30	司会	質疑応答	北岡 哲子	日本文理大学